

ロータリー財団 地区補助金事業報告

広島東南ロータリークラブ(G-7)

東日本大震災被災地施設へピアノ(再生品)を贈るプロジェクト — 社会福祉法人萩の里、学校法人ろりほっぷ学園(幼稚園・保育園) —

贈呈式

- 日 時：2013年10月17日(木)午前11時30より
- 場 所：社会福祉法人萩の里(塩釜市)、学校法人ろりほっぷ学園(仙台市)

プロジェクト概要

広島東南ロータリークラブでは、東日本大震災に見舞われた宮城県内の2施設にピアノ(再生品)を贈るプロジェクトを実施しました。本プロジェクトは会員等から寄付いただいたピアノを再生して被災地に贈りたいという立案から始まりました。贈呈先選定は当初難渋しましたが、久笠地区委員様・仙台南ロータリークラブ様のお力添えをいただき決定いたしました。

贈呈に先立ち、**8月6日(火)原爆記念日に、原爆ドーム前で再生ピアノコンサート**を開き、同時に、被災地の子どもたちやお年寄りたちへの**応援メッセージの記帳**をお願いし、国内外の多くの方にご協力を頂きました。続いて**10月7日(月)当クラブ例会に於いてピアノ出発式**を行いました。出発式では、東日本大震災で多大な義援金を頂いた姉妹クラブ・台中RC(台湾)の例会訪問があり、被災地に思いを馳せながら、贈呈するピアノの伴奏で「花が咲く」を両クラブ全員で合唱しました。

10月17日(木)、ピアノと共に、被災地に広島のこころを伝える「応援メッセージノート」と広島の「被爆銀杏の苗木」(グリーンレガシーヒロシマ)を携えて、広島東南RC6名が宮城県へ出向き、**贈呈式**を行ないました。最初の訪問先、宮城県仙台市若林区の「学校法人ろりほっぷ学園(幼稚園・保育園)」では、待ち迎えてくれた園児と先生達に大歓迎を受けました。そして次に塩釜市の老人施設「社会福祉法人萩の里」を訪れました。ここでは園児たちとは一味違う感動をもらい、感涙をうかべた合唱が印象的でした。両施設とも「ピアノが欲しいけど購入ができないところにこんなプレゼントをいただいて大感激です。」と異口同音に感謝されておりました。このプロジェクトが有意義で大成功であったことと、多大なご協力をいただきました仙台南ロータリークラブの方々に謝意を表してご報告いたします。

地区補助金事業と並行してクラブ社会奉仕事業として、翌10/18、幼稚園・保育所2施設にピアノを贈呈しました。(合計4か所にピアノを贈呈)



TBC東北放送 2013年10月17日(木)放送



学校法人ろりほっぷ学園(幼稚園・保育園)



社会福祉法人萩の里



「出発式」

中国新聞
10月8日(火)
朝刊掲載

広島TV
10月7日(月)
テレビ派宣言

平成25年11月4日(月曜日) 河北新報 朝刊 みやぎ面掲載

河北新報 2013年11月4日(月)朝刊掲載